

## 『自動車道を走行中、対向車が車線をはみ出し衝突』

発 生 年 月	平成 年 2 月
時 刻	8:15 頃
被 災 者	作業員(54歳 一次下請所属 事故当日トラックを運転中)
傷 病 名 等	右下腿打撲、右下腿血腫、胸部打撲 ・・湿布程度の処置、軽傷

### ◎ 発生状況

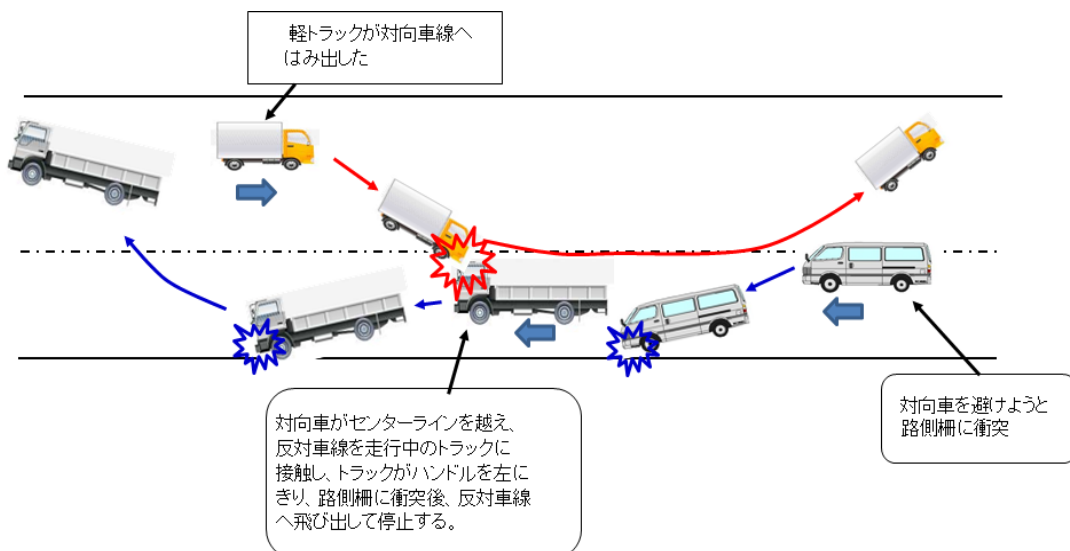
・事故当日、一次下請A社の作業員4名は作業用トラック(2t車)とハイエースワゴンにそれぞれ2名が分乗し、自動車専用道路を工事現場へ向かって走行していた。

8:15頃、対向車の軽トラックがセンターラインをはみ出し、こちらの走行車線へ入ってきたため、2tトラックは衝突を回避しようと左にハンドルを切ったが間に合わず軽トラックと接触、そのまま路側柵に衝突し、その反動で反対車線へ飛び出して停車した。

2tトラックの後ろを走行していたワゴン車も対向車との衝突を避けようと左にハンドルを切ったため、路側柵に衝突して停止した。

2tトラック運転者と軽トラック運転者(76歳)が負傷したため、近隣の病院へ搬送した。

### ◎ 被災状況



### ◎ コメント

・車を運転する際は、車両前方、後方、周囲に気を配り、安全に運航できるよう防衛運転に努めるのが基本であるが、当事案については対向車に責任があり、防衛手段の選択は難しいと思われる。